

使用法 撒布基準 蚕種 20,000粒～25,000粒

令別	撒布量			撒布法	摘要
	1回	2回	3回		
1令	30g	30g		1回目 はきたて当日 2回目 2日目	◎1令から施用、1.2.3令はV.Sを手でもんで微粒子にして撒布して下さい。 ◎給桑前になるべく蚕糞に均一に接触する様撒布。 ◎撒布量は目安ですから増量しても差支えありません。 ◎3令以降は多目がよい。 ◎4令、5令は蚕座の層に何層もまんべんなく撒布するのが最も効果的です。 ◎袋表記の使用量と若干違いますが、この使用法に従って下さい。 ◎病蚕発生の場合は他にうつらない様に多目に撒布して下さい。 ◎眠中にも必ず撒布して下さい。 ◎病気に感染した蚕に対しては治療薬ではありませんから御諒承下さい。 ◎殺菌剤との併用は避けて下さい。 ◎多湿で蚕病発生が予測される場合は撒布量を増して下さい。 ◎V.Sを撒布、眠中に石灰を撒布しても差支えありません。 ◎5令のみの撒布では効果が少ないので、1令から是非使用して下さい。 ◎食桑旺盛になりますから給桑は多目に。
2令	150g	150g		1回目 座取后撒布 2回目 2日目	
3令	300g	300g		1回目 座取后撒布 2回目 2日目	
4令	1,500g	1,500g		1回目 座取后撒布 2回目 2日目 3回目 3日目	
5令	1回 g 2,000	2回 g 3,000	3回 g 3,000	1回目 座取后撒布 2回目 2日目 3回目 3日目	
上簇赤糞処理 糞のたまる処に3.3㎡当り1kg以上撒布 悪臭ほとんどない					

例(1)

試験成績

52年 愛媛県養蚕試験場御指導

蚕期	試験区	減蚕 4令-結	繭重	繭層重	同歩合	箱当量	同繭収入	繰糸成績						
								生糸量	繭格	繭糸長	解じよ	せん度	繭糸量	500g粒数
夏蚕期	対除沙区A	8.6%	1.64g	37.1cg	22.6%	29.2kg	58,225円	19.82%	優等	1,218m	90%	2.48d	33.1cg	303粒
	無除沙区B	14.2	1.56	35.0	22.4	26.6	52,441	19.73	1	1,194	79	2.34	30.7	317
	V除沙区A	4.6	1.75	38.6	22.1	32.4	65,869	20.27	1	1,300	74	2.46	35.1	284
	S無除沙区B	11.3	1.70	37.4	22.0	29.6	59,526	19.99	優	1,367	81	2.23	33.6	293
晩秋蚕期	対除沙区A	8.1	1.97	45.0	23.1	35.8	72,495	20.13	優	1,237	86	2.93	39.8	253
	無除沙区B	8.8	1.81	42.5	23.5	34.2	66,416	19.36	1	1,161	80	2.81	35.6	276
	V除沙区A	6.1	2.09	47.5	22.9	38.4	76,146	19.77	1	1,272	76	2.96	41.4	239
	S無除沙区B	6.7	1.91	44.2	23.1	35.2	68,992	19.48	優	1,169	86	2.92	37.4	263

例(2)

1. 課題の分類：育蚕 通し番号：7

2. 研究課題名 5 養蚕V.Sに関する試験

兵庫県蚕業技術センター

3. 期間：S56

5. 担当者：足立重信・矢田貝 萃

4. 予算区分：県単・経常

6. 協力分担関係：

7. 目的：

有用な放射菌、細菌をパーミキュライトに吸着させた養蚕V.Sは、蚕座撒布によりこれ等微生物が、蚕座(培地)において、初期繁殖菌となって蚕座環境をよくし蚕作が向上するという。